# 令和7年度 石川県被災宅地危険度判定士講習会

## 【演習問題】

(全2題)

- ・講習の動画を見ながら判定票を記入してください。
- ・判定票の解答及び解説は動画の中で行っております。
  - ※記入内容と解答が異なっていても、修正等は必要ありません。

#### ~判定票の提出について~

- ・講習動画視聴後、本判定票を石川県土木部建築住宅課のメールアドレス (<u>kenjuu@pref.ishikawa.lg.jp</u>) 宛に提出してください。
- ・メールの件名は、『【被災宅地(氏名)】判定票の提出について』 としてください。
- ・演習問題の提出を確認後、認定登録証を送付いたします。(12 月以降の発送となります。)
- ・回答期限は令和7年12月12日(金)です。

### (様式-2)宅地地盤/のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

_	time to			<del>ant</del>	調査日時		年	月	目	時	調		•	
調査			•	票	地震名又は降雨災		害名						演習問題 1	
被言	<b>主 弘</b>	生生	11 11		都 道	府 県			市 郡					
192 =	<b>ਜ</b> π	·	<i>77</i> 1					団地		丁目			番	号
		管理者					_	者氏名			TE	EL:		
所有	者	· 管理 絡		TEL:			居住  説	:者への 明	□済	□未了 □居住	: 去不	左	□老人独	昆住字
Æ		PH							<u></u>	応急指			□未了	<u> </u>
			< 7	波 災	と、状	況	図)	>		□被災			易記録	
		1	宅 力	也地	盤				o y	面 •	自	然	斜面	
1.25	ック	2.陥沒	ž :	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.	クラック	2-1.ハラミ	2-2.盤ぶくれ	3. <i>h</i> 'y	一浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
	A CONTRACT				***	· · ·		No.	The state of the s		1.7	OP:	表層すべり	円弧すべり
		7	77		1	WILL THE THE		•		1	[:]			Timming!
5.の l	り面色	· R護工変	状 6.	排水施	設の変状								I.	<u> </u>
									面で簡易	記録をする	場合	は、被	災状況図に	は省略する
		格内土砂流出	<			ことがでただし			ぶ分かるよ	う判定結果	を住	宅地図	日本記載	し、被害が
		(枠浮上り)								兵を撮影する			,	
			<u>'</u>											
		181 81						8.5	11					
		11 11 11 11 11 11 11 11			隣地			if 1 11 r 11 r 11 s 11 s	† 1 1					
								# t	11					
		掛			$\bigcirc$		クラック8cm							
		田	,	~ —				B						
		揖						Ħ						
	$\uparrow$	扭	6/4					H	H					
隣地	 1	- 田			建物	{		H	隣地					
17.1	-	田	段 50	<b>差</b> cm	~_ 1/3			B						7.
		揖						H						建物
		扭	E					H					段差	
		揖	E			/ /	$\wedge$	H				_	50cm	
		田			<u>クラック7cr</u>			E		2.9				
ā							B)	H	<b>H</b>	<b>」</b>	地			
							Δ	7						
					道路			-						
					~			1	A					
				[平面	'図]					「断ī	面図]			
被多	災写真	真の有無				写真番号	[			2.211				]
di-t-	<b>⇒</b> →	جي.	***											
特	記	事	項											

	のり面・自然斜面の基礎的条件												
投 □軟岩			<u> </u>	□硬岩 □不明			·バーハング	□無 □有					
世盤 土 砂 □砂質土□礫質			質土□粘性土	:□不明	排刀	k施設	□無 □有(のり肩、小段排水)						
の	り面高	最大高	i	m(平均高 m)		のり	) 面保護工	□無 □植生土 □構造物					
(複合	合のり面は擁壁高含)	(うち疼	<b>産産高</b>		m)	Jate H	No art o taxas	□のり面の上部 □のり面の中部					
の	り面勾配			度		一 7维生	<b>達配置</b>	□のり面の下部 □全面					
の	り長さ			m		家屋	屋の有無	上部 口7	有 口無	無 : 下部 □有 □無			
				変:	状 形態	配点	<u> </u>						
	変形状態のチュ	.ック(複数	町)		小			中		大			
宅	1 クラック(	3 cm未満		1	3~15cm 未 複数	満又は	3	15cm 以上又は全面					
地	2 陥没(深さ)	20 cm未満		2	20~50 cm未	満	4	50 cm以上	6				
地	3 沈下(沈下)	10 cm未満		2	10~25 cm未	満	4	25 cm以上	7				
盤	4 段差(段差		20 cm未満		3 20~50 cm未満			5	50 cm以上				
	5 隆起(隆起)	書)		20 cm未満		7	20~50 ㎝未満 8			50 cm以上	9		
	6 湧水、噴砂	>			∮→+ 1 点(上	数に1点加え	る)						
	変形状態のチュ	.ック(複数	可)		小			中		大			
	1 クラック(幅	)		3 cm未満又	には単数	1	3~15 cm未 数	満又は複	2	15 cm以上又は全面	3		
	2 ハラミ(隆起	量)		10 cm未満		3	10~30 cm未	10~30 cm未満		30 cm以上	5		
	3 ガリー浸食	となって	などが誘因 雨滴による れはじめた	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 7 がるおそれのあるも の。			洞穴状や滝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 8 下側に被害を及ぼす ような状態。					
の り	4 滑落・崩壊		表層すべ のり面上部	7	表層な状ます。 な状ますの がある、 を がある、 を がある、 を を を がある。 を がある。 を がある。 で の で の の の の の の の の の の の の の の の の	れたよう 置すると されのり 面	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9				
一面 • 自	5 のり面保護 (植生工は)	詰め陥没。 クリート ずかにテン ラックが	のり枠のコに かりとは かりまた かりまた かりまた かりまた がりまた がりまた。	7	例えば、のり枠の部分的な破損。又はコンクリート吹付工のクラック部分で陥8 ・ずれが見受けられる。			例えば、のり枠の浮上り破壊。又はコンクリート吹付工のラス金網が露出し、コンクリート吹付面にも破損が見受けられる。	9				
然斜	6 排水施設の	変状		天端排水流	構にずれ、 る。又は、天 補装面にク	3	左に加え、 クラック、 からの湧水	又は目地	5	排水溝が破断沈下するなど、排水機能が 失われている。	7		
面	7 のり面内のオ	道管等の破	: 裂		kが流出して								
	8 湧水、落石	<ul><li>転石</li></ul>		□無 □1	有→+1 点(上	に 1 点加える)							
	※基礎点に変状点の ※無被害の場合は基础			□大 □	中 口小	点	中被害:	0 点(l 1~3点( 4~7点(l	防災上 当面は 制限付	数と危険度判定☆ 問題無し) 防災上問題無し) き立入。進行していれば選 <b>要避難、立入禁止)</b>	<b>连维</b> )		
		緊急	息 度	□大 □中 □小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)									
	所見記入者の意見 ※無被害の場合は記載	記人者の意見								○ 無心 日間 本中にする。	,		
		拟天0	ノ兄込	□有	□無□	判断不	「可 (備考	•			)		

#### (様式-1) 擁壁被害状況調查・危険度判定票

						п	n±.	<b>→</b>			
調査	票	調査日時		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		日	時				
H)			震名又は降雨災害名					演習問題 2			
被害発生場所	ŕ		道府県		市利						
				団地	1	丁目		番	<b>†</b>	号	
所有者・管理者氏名				記入者氏名	_		TEI	<u>.</u> :			
所有者・管理者の 連 絡 先	D   E   TEL :			居住者への説 明	り   □済 月	口未	₹了 □居住者	《不左	□老人独月	早仕 字	
	L TEE .			H)L 5	,1						
	<被	災状	: 況	図>					□済 □未了 □簡易記録		
1.クラック 2.水平	移動 3-1.	不同沈下 3		き 4.ハラ	£ 5 - 1.4	4000			<u> 6. 擁壁の折損</u>	7.崩	壊
97			$\leftarrow$								
8. 張出し床版付擁壁の支柱の	損傷   9. 基礎 以	とひ基礎地盤の	<b>被害   10.排水</b>	施設の変状		-			ドとの位置関係 影響範囲(A)		
VM BEAR & LIVE	A ).1		mb + 7 × 1.						1.0H	影響範囲外(	<u> </u>
※簡易記録をする場合にだし、調査箇所が					ま宝が無い	<u>ー</u> マ4 てい	が確認でき	 ユ.フ キスタ!		<u>ー</u>	_
道路 クラック5mm A 段差7cm		Ž.	<b>書物</b>		道路	5	1. 0m 5. 1m 1. 0m 5. 1m	11-22-2-2-2-2	TO .		8cm 雜壁 差7cm
	Γ	平面図]					[断面]	<b>x</b> ]]			
被災写真の有無			写真番号[				,, page	<u></u>			]
特記事項											

日本の	m 増設高 m ] . 下部高 m ] .				
日本	] ] :下部高 m ]				
世報日報報報 □その極 □本の積 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	]				
世報日報報報 □その極 □本の積 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	]				
日本日報	]				
中学石線線壁	虚肿般 ┗ □体 □ズ甲				
日本の他   日本の他   日本の他   日本の他   日本の	ぬみ心流工. 山地 山小明				
でじみ出し、流出	(1:)				
透視   記書	道路がない(B)				
は にじみ出し、流出					
### 「					
<ul> <li>②排水施設</li></ul>	基礎点計				
株技孔無 あっても数・寸法が不適当	1)+2+3				
大坂礼熊 あっても数・寸法かへ適当					
Im < H≦3m					
3m < H ≤ 4m					
4m <h≤5m 0.4="" 0.5="" 0.5<="" 0.6="" 0.8="" th=""  =""><td></td></h≤5m>					
大・中では、					
7					
項目   擦壁種類   220   線積   物種   2段   張出   空積   227   線積   増積   2段   張出   空積   227   4   4   5   5   7   4   4   5   5   7   7   5   2   2   水平移動   2   2.5   3.5   4   5   7   7   5   5   3   7   7   5   5   4   5   5   6   7   9   6   6   3.5   4   4.5   5   7   7   5   5   6   7   9   6   6   3.5   4   4.5   5   6   7   9   6   6   3.5   4   5   7   7   5   6   7   9   6   6   4   5   5   6   7   8   9   9   10   10   10   10   10   9   8   6   探壁の折損   9   9   10   10   8   10   10   10   10   9   8   8   9   9   10   10   8   8   8   9   9   10   10   8   8   8   9   9   10   10   8   8   8   9   9   10   10   10   10   9   9   9   10   10	大				
変 大         1 クラック         1 2 3 4 5 6 25 3.5 4 5 7 4 4         4 5 7 7 4 4           変 水平移動         2 25 35 4 6 6 6 3.5 4 4.5 5 7 7 7 5         4 4.5 5 7 7 7 5           状 ハラミ         4.5 5 6 8 8 8 6 6 7 8 9 9 9         6 7 9 9 6           5 幅終・倒壊         5 5.5 6 7 8 9 7 8 9 9 10 8 8         7 8 9 9 9 10 8 8           7 崩壊         9 9 10 10 8 10 10 10 10 10 10 9 9         8 8 り 10 10 10 10 10 10 9 9           8 駅り出し床版付練壁の支柱の損傷 9 9 10 排水施設の変状 11 排棄管育面の水道管等破裂	東積 増積 2段 張出 空積				
### 1	5 6 7 8				
10   10   10   10   10   10   10   10	5.5 6 7 9 9				
10   10   10   10   10   10   10   10	7 8 9 10				
態と 6 接壁の折損 6 6.5 7 8 9 7 8 9 9 10 8 7 8 張 9 9 10 8 8 7 崩壊 9 9 10 10 8 10 10 10 10 10 9 9 9 10 10 8 張 7 崩壊 10 10 10 10 10 9 9 9 10 10 8 張 7 前壊 10 10 10 10 10 9 9 9 10 10 10 10 10 10 9 9 9 10 10 10 10 10 10 10 9 9 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	8 9 10 10 10				
5   10   排水施設の変状   3   5   10   11   排墜背面の水道管等破裂   10   10   10   10   11   排墜背面の水道管等破裂   10   10   10   10   10   10   10   1	9 10 10 10				
5   10   排水施設の変状   3   5   10   11   排墜背面の水道管等破裂   10   10   10   10   11   排墜背面の水道管等破裂   10   10   10   10   10   10   10   1	9 10 10 10				
5   10   排水施設の変状   3   5   10   11   排墜背面の水道管等破裂   10   10   10   10   11   排墜背面の水道管等破裂   10   10   10   10   10   10   10   1	10 10 10 10 10				
10 排水施設の変状   3   5   10   11   接壁背面の水道管等破裂   10   10   11   接壁背面の水道管等破裂   10   10   10   10   10   10   10   1	10				
11   擦壁背面の水道管等破裂	7				
1 クラック(幅  2 mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合 2 mm 未満)					
支障なし(コンクリート系擁壁の場合 2 mm   大満。   大平移動 (伸縮目地前後のずれ)   5 mm未満の隙間(変位)がある。   5 mm~50 mm未満の隙間(変位)がある   50 mmと   50	大				
未満。   未満。   未満。   未満。   未満。   2 水平移動 (伸縮目地前後のずれ)   5 mm未満の隙間(変位がある。   5 mm~50 mm未満の隙間(変位がある。   5 mm~50 mm未満の隙間(変位がある。   5 mm~50 mm未満の隙間(変位がある。   5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれては目地の開きがある。   5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれては自地の開きがある。   2 mm・50 mm未満の目地の上下のずれている。   2 mm・50 mm未満の目地の上下のずれては自地の開きがある。   5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれては自地の開きがある。   5 mm~50 mm未満の目地の上下のずれている。   2 mm・50 mm・大機能がよる。   2 mm・50 mm・大に関するにははいるにははいるにははいるにははいるにははいるにははいるにははいるにはは					
変状の程度度         3 不同沈下・目地の開き (目地上下・左右の開き)         5 mm未満の関間(変位)がある。         5 mm~50 mm未満の関間(変位)がある。         5 mm~50 mm未満の関間(変位)がある。         50 mm以 (伸縮目地的後のずれ)           4 ハラミ (テンションクラック・ずれ・中抜け)         小規模のハラミ及び中抜け(積石が1 (テンションクラック無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧すべりのおそれ無し 円弧するりのように明らかに角度をなし ングリート系擁壁の場合: 天端 50 mmよ 満の傾斜)         ケラックを境に明らかに角度をなし ており、抜け石があり、裏込めコンク リートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)         クラックを境に前方に傾斜している。)         クラックを境に前方に傾斜している。)         クリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)         をかみの場所を表述の場合クラックを境に前方に傾斜している。)         会クラックを境に前方に傾斜している。)         大規模な沈下やクラックが生じている。         支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が 支柱の別とでいる。         支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が 見えている。	(コンクリート系擁壁の場合5㎜以上)				
(神縮目地前後のずれ)   3 不同沈下・目地の開き	人上の隙間(変位)がある				
日地上下・左右の開き					
では、	50 mm以上の目地の上下のずれ又は				
程度	目地の開きがあり、滑動、転倒のお				
大	それが有る。   宅地地盤にテンションクラック有り				
大	円弧すべりのおそれ有り				
中	擁壁が前傾・倒壊してその機能を失				
一	っているもの。				
・ 小ののにはらんでいるが曲線的でなく、クラックを境に対すがに角度をなしており、抜け石があり、裏込めコンククリート系練壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)       リートが見える。(コンクリート系練壁の場合クラックを境に前方に傾斜してい場がある。)         7 崩壊       中間辺りから上が滑っている。       基礎部を残して滑っている。       機能を表して滑っている。         8 張り出し床板付練壁の支柱の損傷       支柱にひびが入っている。       支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。         9 基礎及び基礎地盤の被害       大規模な沈下やクラックが生じている。	H1 1, 1, 101 1 /				
の。はらんでいるが曲線的でなく、 (コンクリート系擁壁の場合クラックを境に カデかに前傾している。) リートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜してい 壊がある。) 7 崩壊 中間辺りから上が滑っている。 基礎部を残して滑っている。 機能を 8 張り出し床板付擁壁の支柱の損 支柱にひびが入っている。 フ柱のコンクリートがはがれて鉄筋が 支柱の 見えている。 9 基礎及び基礎地盤の被害 大規模な沈下やクラックが生じている。	て大であると判るもの。(コン 系擁壁の場合クラックを境に前				
### カラックを境に鈍角に折れている) わずかに前傾している。) 合クラックを境に前方に傾斜してい 壊がある。)	いる。又は、1mmでも剪断破				
要説 7 崩壊 中間辺りから上が滑っている。 基礎部を残して滑っている。 機能を 8 張り出し床板付擁壁の支柱の損 支柱にひびが入っている。 支柱のコンケリートがはがれて鉄筋が 支柱の 見えている。 9 基礎及び基礎地盤の被害 大規模な沈下やケラックが生じている。	壊があり後傾している。)				
明 8 張り出し床板付擁壁の支柱の損 支柱にひびが入っている。 支柱のコンケリートがはがれて鉄筋が 支柱の 傷 見えている。 見えている。 タ 基礎及び基礎地盤の被害 大規模な沈下やケラックが生じている。					
傷     見えている。       9 基礎及び基礎地盤の被害     大規模な沈下やクラックが生じている。	果たしていない。				
9 基礎及び基礎地盤の被害 大規模な沈下やケラックが生じている。	鉄筋が   支柱の剪断破壊。				
	の詰まり、破損があり、排水				
	失われている。				
れる。					
11 擁壁背面の水道管等破裂 破裂して水が流出している。	ن جا ابرابط ۸				
基礎点 + 変状点 ☆被害程度の点数と危	<b>與</b> 関軍☆				
+ 無被害: 0 点(防災上問題無	L)				
被害の判定値					
A-全般点に交れ点が取入他で加えた点数	ガベエ門窓ボ U/				
	ていれば避難)				
	立入禁止)				
温灰及17.	人命・財産・交通の3点を判定基準とする。 )				
※無被害の場合は記載無し 拡大の見込 □ 有 □ 無 □ 判断不可 ( 備考:	7円正基壁とする。				